

古都京都の文化財 マップ



京都は794年に平安京が日本の中心として築かれてから、1000年以上首都として栄えました。その間、宗教・非宗教建築と庭園設計の進化にとって主要中心地であり、日本の文化的伝統をつくりあげることにおいて非常に重要な役割を果たしました。特に19世紀以降、庭園は世界的に影響を与えました。

また、京都の現存する建造物や庭園は、近世までの日本の文化財で最高級のものです。

中でも保護状態に優れている17ヶ所の寺社と城郭が、「古都京都の文化財」として1994年に世界遺産に登録されました。

りょうあんじ
龍安寺



かれさんすい せきてい

世界的に有名な枯山水の石庭があります。石庭の作者や意図などは分かっていません。配置された大小15個の石が何を表すのか、見る人に様々なイメージをもたらします。

てんりゅうじ
天龍寺



そうげんちえん おそうこくし ちせんかいゆうしき
曹源池庭園は夢窓国師が作った庭で池泉回遊式になっており、嵐山や亀山を借景として取り込んでいます。
あらしやま かめやま しゃけい

さいほうじ
西芳寺

むそうそせき

夢窓疎石によって作られた庭園は上下二段に分け、上段は枯山水式、下段は池泉回遊式にしています。下段は黄金池を中心に100種以上の苔でおおわれており、「苔寺」と呼ばれる由来になっています。



- ・枯山水式(かれさんすいしき)とは水ない庭のことで、池や遣水などの水を用いず石や砂などにより山水の風景を表現する庭園様式のことです。
- ・池泉回遊式(ちせんかいゆうしき)とは池の周囲を一周しながら様々な角度から庭園を鑑賞できるように庭園を造り上げる様式のことです。

こうざんじ
高山寺

ちょうじゅうじんぶつざが みょうえ
国宝である絵巻「鳥獣人物戯画」、明恵
しょうにんぞう
上人像など数多くの貴重な美術工芸品を
所有することで有名です。

また、日本で初めて茶が作られた場所と
しても知られており、「にほんさいこのちゃえん ひ日本最古之茶園」碑
が立っています。



にんなじ
仁和寺

おうにん らん しょうしつ
応仁の乱でほとんどが焼失、江戸時代になって再建されました。
きゅうでん
宮殿建築と仏教建築が合わさった独特の様式の建造物を見ることが
ができます。



か も わけい か ち じん じゃ か み が も じん じゃ
賀茂別雷神社 (上賀茂神社)

上賀茂神社の名で親しまれている、京都で最も古い神社の一つとされています。

国宝に指定されている本社、権殿ごんでんのほかに多数の重要文化財があり、34棟の社殿しゃでんが立ち並んでいます。



か も み お や じん じゃ し も が も じん じゃ
賀茂御祖神社 (下鴨神社)

鴨川の下流にあることから下鴨神社の名で親しまれています。広大な境内は「たす糺の森」と呼ばれ、原野の名残をとどめる神域しんいきで、森閑しんかんとした雰囲気ただよを漂わせています。



ろ く お ん じ き ん か く じ
鹿苑寺 (金閣寺)

正式名称を鹿苑寺けいだいといい、境内にある建物の一つ舍利殿しゃりでん「金閣」が特に有名なため一般的には金閣寺と呼ばれています。



えんりやくじ
延暦寺

滋賀県と京都府にまたがり、^{ひえいざん}比叡山全域を境内とする^{てんだいしゅう そうほんざん}天台宗の総本山の寺院
です。東には「^{てんだいやくし}天台薬師の池」と詠われた日本一の琵琶湖を眼下に望み、西には
古都京都の町並を一望できる^{けいしやう}景勝の地でもあります。



じしやうじ ぎんかくじ
慈照寺(銀閣寺)

正式名称を東山慈照寺といい、銀閣寺の名の由来は江戸時代、金閣寺に対して、銀閣寺となったといわれています。銀閣寺はお盆の8月16日の夜に
点火される送り火で知られる^{だいもんじやま ふもと}大文字山の麓にあります。



きよみずでら
清水寺



^{さかのうえのたむらまろ}坂上田村麻呂によって^{じゆういちめんかんのりゆうぞう}十一面観音立像を安置するために造られました。その後、京を代表する観音信仰の参詣の地となっています。

また、本堂の前に設けられている「清水の舞台」は眼下に京都市街が見下ろせる^{だんがい}断崖に

建っており、「清水の舞台から飛び降りたつもりで…」と勇気を出して、思い切ったことをするときのたとえにもよく使われます。

びょうどういん
平等院

ほうおうどう あみだによらい ざぞう ぶっしじょうちよう
鳳凰堂に安置されている阿弥陀如来座像は、仏師定朝の
作で、げんぞん あじいけ
現存する唯一のものです。目の前の阿字池に影を落
とす鳳凰堂の美しい姿は、まさにごくらくじょうど
極楽浄土を思わせてくれ
ます。



だいごじ
醍醐寺

しんごんしゅうだいごは
真言宗醍醐派の総本山の寺
院です。境内にある五重塔は国
宝であり、京都府で最古の木造
建築物となっています。



うじがみじんじゃ
宇治上神社

ほんてん
本殿は、平安時代の終わりごろに建てられ、日本
で最古の神社です。



にじょうじょう

二条城

とくがわいえやす

徳川家康が1603年に京都御所の警護と將軍の宿泊

ごしょ

けいご

しゅくはく

場所として建てたものです。



きょうおうご こくじ どうじ

教王護国寺(東寺)

しんごんしゅう

真言宗の寺院です。境内にある五重塔は日本の木造

けいだい

ごじゅうのとう

建築物として日本一の高さを誇ります。

ほこ

ほんがんじ にしほんがんじ

本願寺(西本願寺)

しんらん

親鸞が開いた浄土真宗本願寺派の総本山の寺院

じょうどしんしゅう

です。元は京都東山に建てられていたが、豊臣秀吉

とよとみひてよし

の時代に現在の場所に移されました。



写真

「京都フリー写真素材」URL:<https://photo53.com/>

参考文献

世界遺産と学ぶ会『知っておきたい!日本の「世界遺産」がわかる本増補改訂版』メイツ出版 2020年